

「世界の宝 平和憲法」を守りましょう



日本国憲法前文には、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることがないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そもそも国政は、国民の厳粛な信託によるものであつて、その権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理」と明記されています。国民主権と戦争放棄

をうたつた世界に誇るべき憲法を守り、世界の平和に貢献することこそ、戦争で犠牲になつた日本やアジアの数千万人の人々の霊に報いるのではないでしょうか。政府は、この平和憲法を変え、再び、日本を戦争の出来る国にしようとしています。今の私たちの生活は平和憲法の下、成り立っています。惑わされる事なく、一人一人の意志を選挙で表わし、政治を動かしましょう。

(N)

生活保護

中野共立病院
医師 谷川 智行



法案の問題点

自民・公明政権は生活保護「改正」法案を閣議決定し、国会に提出しました。生活保護申請時に、申請書、給与明細などの提出が要件化され口頭申請が認められなくなると、知的障がい者や読み書きが難しい人が排除されやすくなります。

給与明細の出ないブラック企業で働いている人、路上生活者など、困窮の度合いが高いほど申請が難しくなります。

また、家族に扶養義務を求めると、生活保護家庭で育ち何

とか学校を出て仕事についた子どもは、生活保護を受けている両親への仕送りを、求められ、子どもの自立が阻害されます。親の貧困を子どもに背負わせ、貧困問題を血縁関係に押し込める社会が、まともな社会と言えるでしょうか。

貧困解消は 政治の責任

日本で生活保護を受けている人は215万人。捕捉率（生活保護を必要とする人のうち実際に制度を利用して人の割合）は2、3

友の会の 会員さんを訪問して

医学生担当室主任 中西 龍



東京民医連では医学士奨学生合宿で月1回、ミーティングを行い、医学生が興味関心あるテーマを深め学習しています。

病院での医療活動の実践に触れたり、患者さんへのヒアリング・医療を深める学びやフィールドワークを行っています。今年のテーマは「地域」。

都心部に住んでいる方の家を学生と職員で訪問し、お話し

不自由な体をおして ボランティア

朝妻さんは、パーキンソン病で働けなくなり、現在、生活保護を受けてアパートで一人暮らしをしています。買物や家事などは自分で行っていません。杖代わりに乗っていた自転車は、転んで肩を骨折してから乗っていません。出かけるのを聞いて、

を聞く事に なりました。中野に住む朝妻明さん(66歳)の会のボランティアをしています。



朝妻さん(左) 谷川医師と女子医大生

の横顔はまさに職人の顔。色々な人が朝妻さんに寄つて来て「おっ！新作の風だね」と声を掛けていました。

学生も「大学では教わらない事を教えてもらった。外に出て行かないとわからない事がある事に気づかされた」と言っていました。

一番の心配は これからの生活

朝妻さんの今一番の心配事はお金のこと。生活保護基準が引き下げになれば、生活していけるかどうか不安だと。朝妻さんのように病気のため働けなくなつた時、最低限の生活が出来よう憲法で保障されています。国はその責任を果たして欲しいと思います。

朝妻さんは、パーキンソン病で働けなくなり、現在、生活保護を受けてアパートで一人暮らしをしています。買物や家事などは自分で行っていません。杖代わりに乗っていた自転車は、転んで肩を骨折してから乗っていません。出かけるのを聞いて、

問われる人権感覚

生活保護は、1950年に法改正が行われた際、「勤労の意思のない者」「素

ま生活保護を受けている人、特に子育て世帯への生活費支給が大きく減らされています。高齢世帯では、夏の熱中症などによる生命の危機も心配されます。

さらに、生活保護基準は就学援助や地方税非課税水準、介護保険・国民健康保険の減免、最低賃金など他制度に連動しているため、低所得者層全体の負担が増えます。



早期発見、早期治療に大きく役立つ



区民健診 受けましょう!

6月1日からはじまっています。

【中野区】2013年度 国保特定健診 長寿健診 健康づくり健診 各種がん検診

乳がん・子宮がん検診は予約が必要です。気軽にお問合せ下さい。03(33386)9106 (期間) 来年2月28日まで 中野共立診療所3階 健診センターで実施中